

大船渡湾内観測結果(No.12)

“今月の話題”

湾内の水温は8～9℃台であり、例年よりも2℃ほど高くなっています。二枚貝等の餌の量を示すクロロフィルは湾内全域で先月と比べて高く、これに伴い透明度は低くなっています。

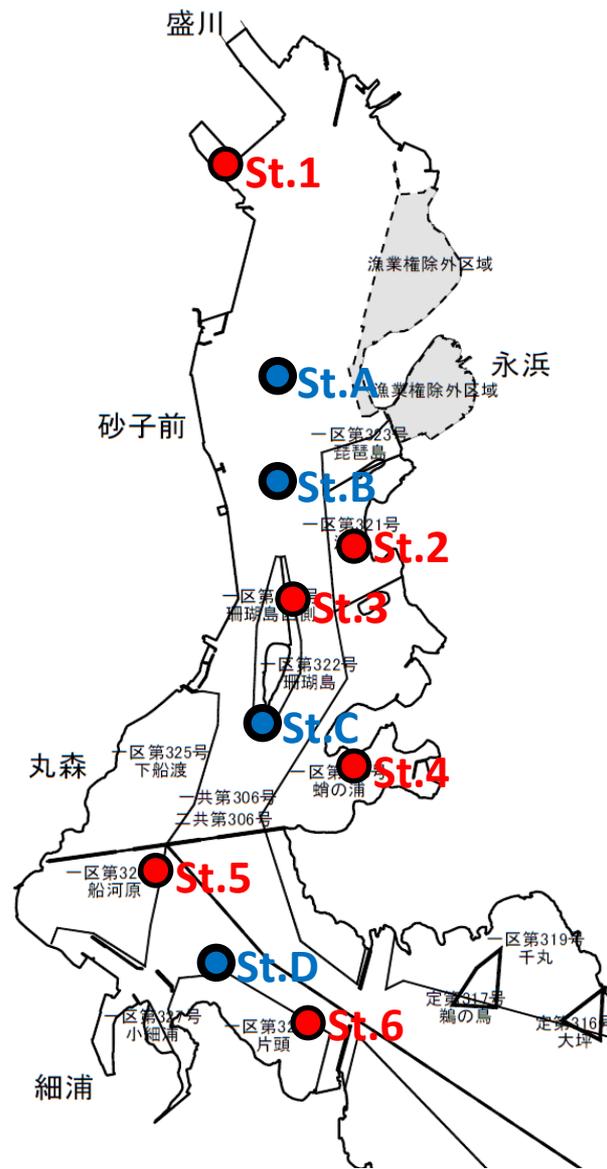
3月19日に行った大船渡湾内観測結果をお知らせします。

透明度は4.5～7.5mであり、平成18年度から平成28年度の平均値と比べて、-1.2～+1.2mの範囲内でした。

水温は水深2.5mが9.1～9.2℃、水深10mが8.5～8.6℃でした。平成18年度から平成28年度の平均値と比べて、水深2.5mが+2.5～+2.6℃、水深10mが+2.1～+2.2℃の範囲内でした。

海域名:大船渡湾
 調査担当:水産技術センター、大船渡市

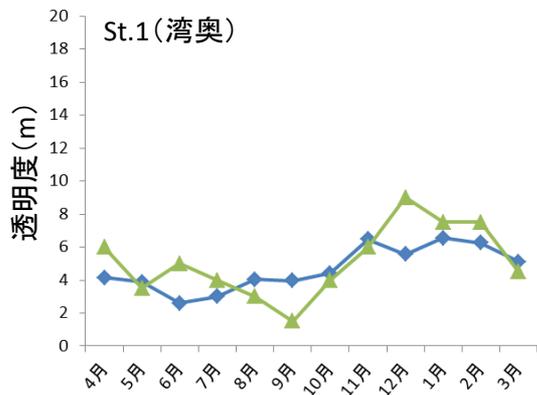
観測点(St.)		1	2	3	4	5	6
観測年月日		平成30年3月19日					
観測時刻		11:52	12:08	11:27	11:08	10:46	10:27
天候		晴					
気温(°C)		14.3					
風向		W					
風力		2					
水深(m)		8.4	24.0	26.9	17.8	25.0	37.2
透明度(m)		4.5	7.5	5.5	7.5	6.5	6.0
水色		7	6	6	6	5	4
水温(°C)	表層0m	9.3	8.1	8.7	8.0	8.5	8.0
	水深2.5m	9.1	9.2	9.2	9.2	9.1	9.1
	水深10m	-	8.6	8.5	8.6	8.6	8.5
	海底上1m	8.6	8.3	8.3	8.4	8.3	8.0
塩分	表層0m	26.2	25.9	28.4	27.9	30.1	29.3
	水深2.5m	32.0	33.3	33.3	32.4	33.3	33.5
	水深10m	-	33.9	33.9	33.9	33.9	33.9
	海底上1m	33.9	34.0	34.0	34.0	34.0	33.9
溶存酸素飽和度(%)	表層0m	115.2	111.2	117.4	111.7	120.0	114.0
	水深2.5m	133.1	126.0	130.7	116.9	133.9	134.6
	水深10m	-	128.8	105.2	120.9	121.0	113.9
	海底上1m	108.0	80.0	81.0	88.0	86.8	92.9
クロロフィル(Chl-Flu.(ppb)) ※観測機器の測定値	表層0m	1.0	0.3	0.7	0.4	0.6	0.4
	水深2.5m	4.1	0.9	1.6	0.6	1.5	2.5
	水深10m	-	11.5	11.4	14.9	8.1	10.1
	海底上1m	6.0	1.0	0.8	1.3	1.3	1.6



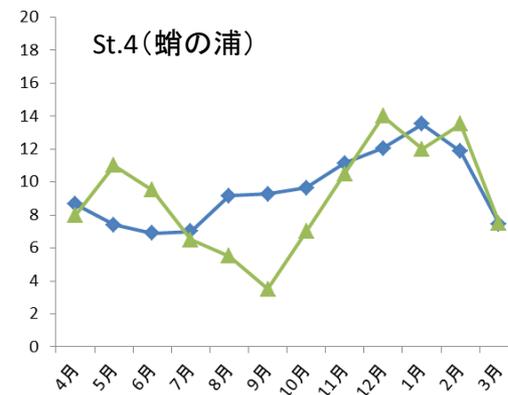
©岩手県（漁業権連絡図）

図1 大船渡湾調査定点図

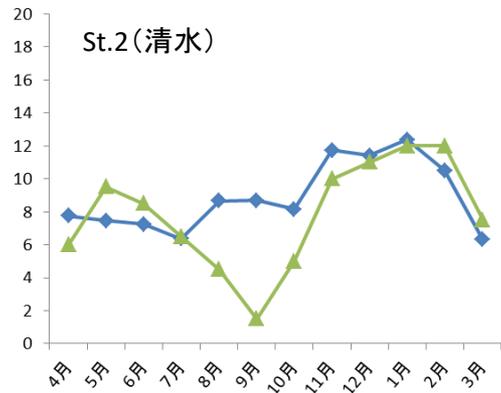
※St.1からSt.6において透明度の観測や表層0mから海底上1mの水質を観測した。
 St.AからSt.Dにおいて表層0mから水深10mの水質を観測した。



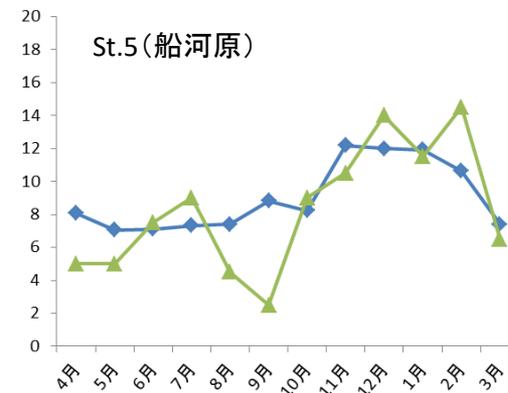
◆ 平成18-平成28年度
▲ 平成29年度



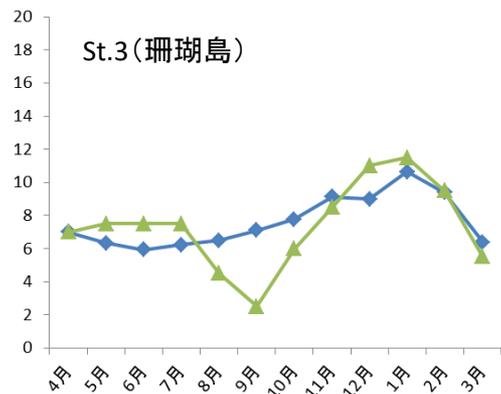
◆ 平成18-平成28年度
▲ 平成29年度



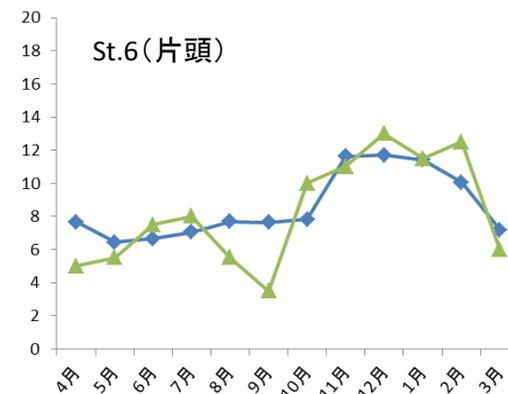
◆ 平成18-平成28年度
▲ 平成29年度



◆ 平成18-平成28年度
▲ 平成29年度



◆ 平成18-平成28年度
▲ 平成29年度



◆ 平成18-平成28年度
▲ 平成29年度

図2 透明度の推移

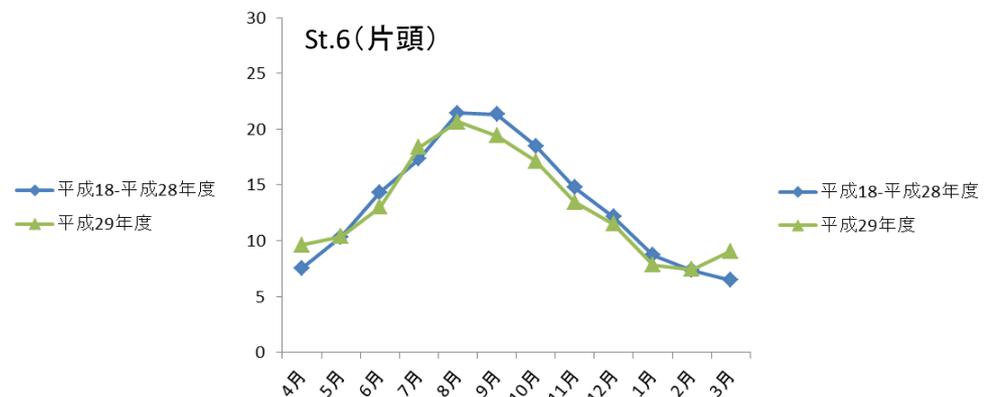
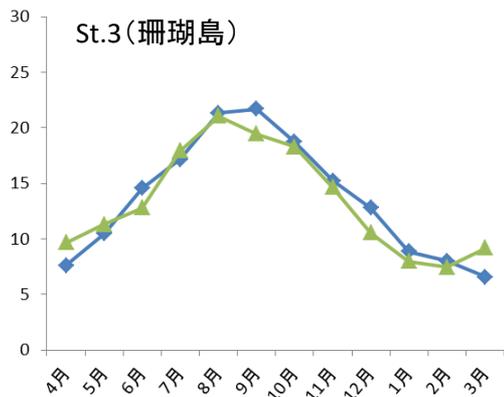
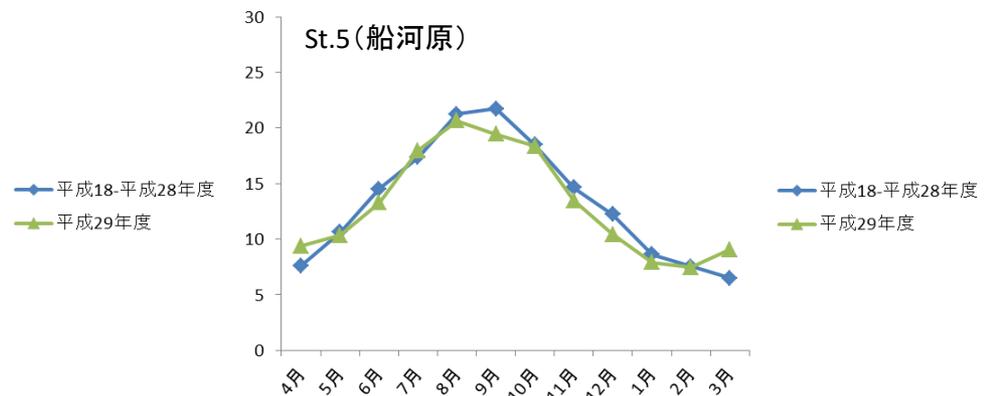
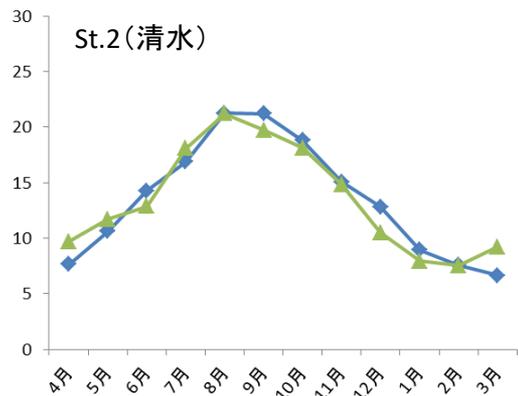
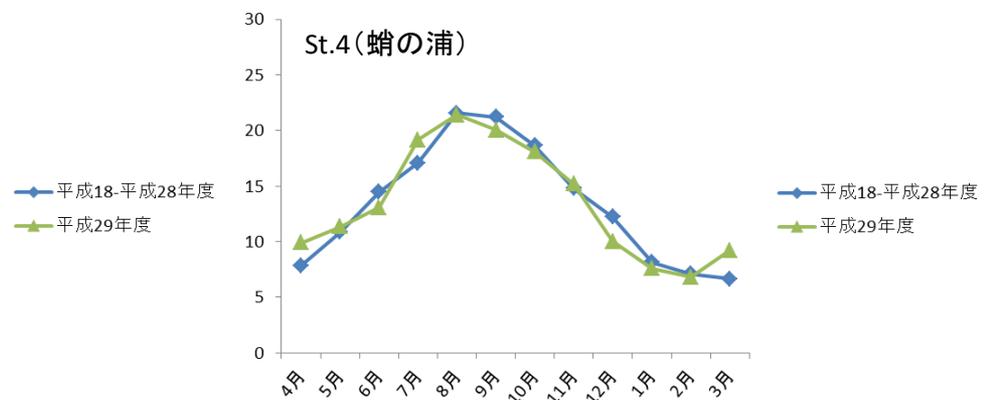
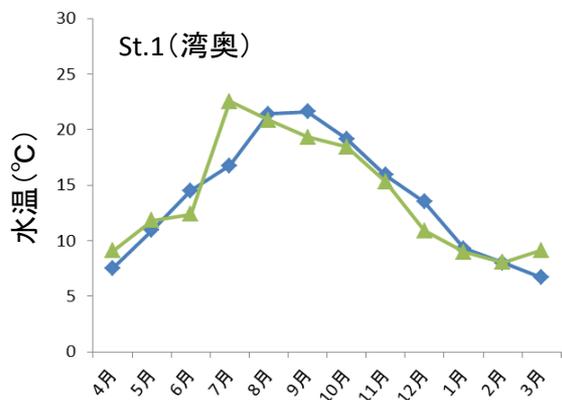


図3 水深2.5mの水温の推移

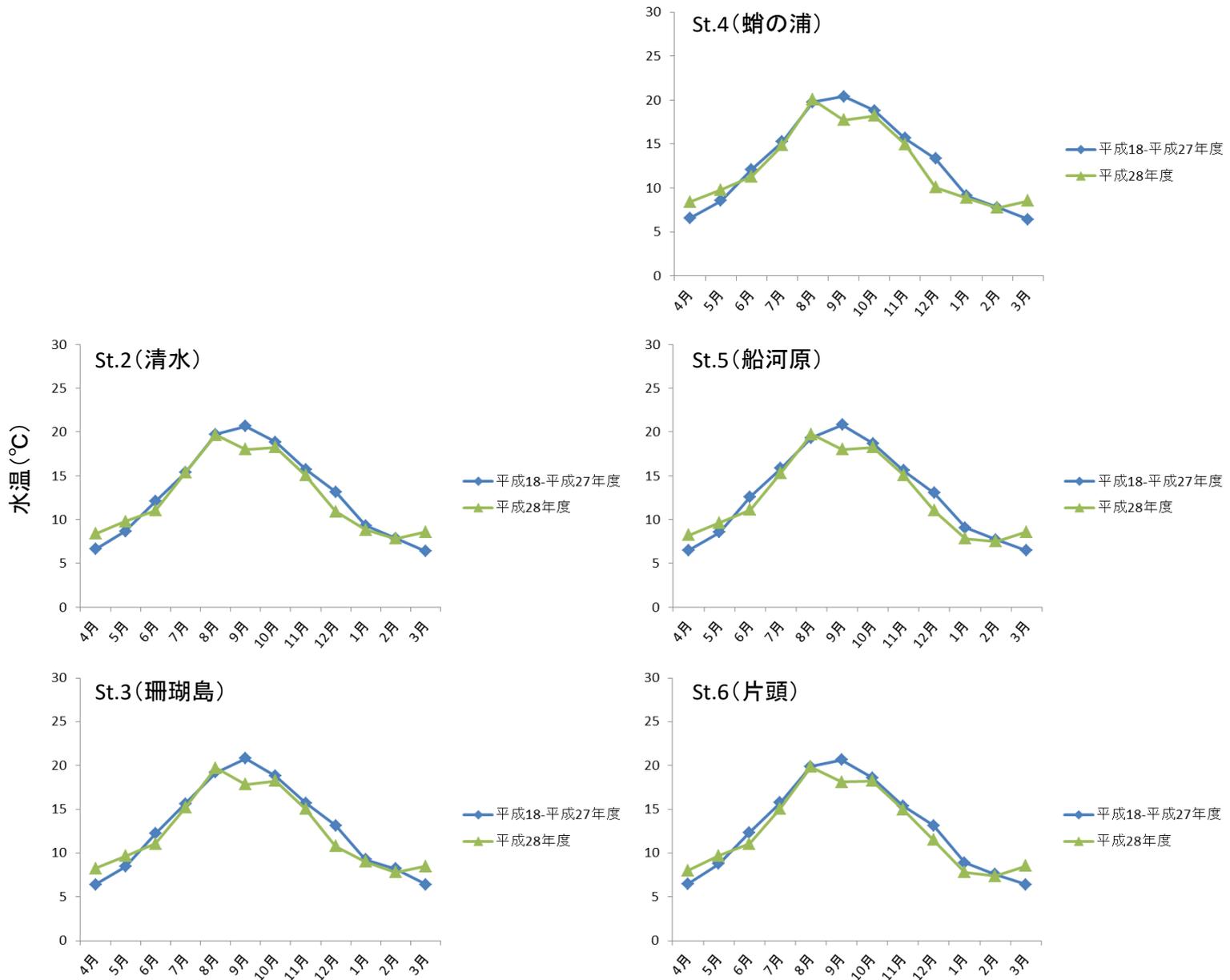


図4 水深10mの水温の推移

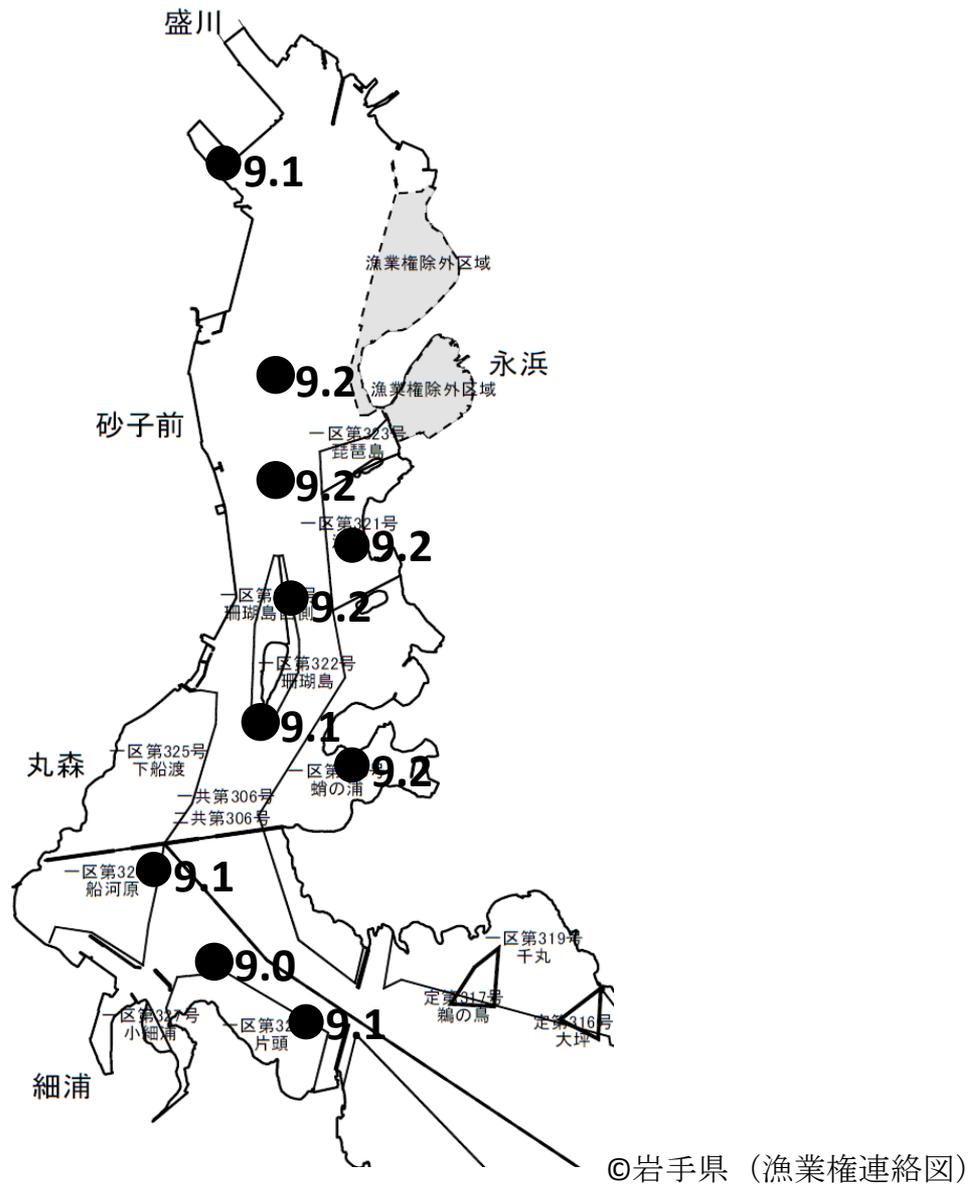


図5 水深2.5mの水温の分布

※湾外から湾内に流入する海水、陸から湾内に流入する河川水、降雨や気温の影響を受けて湾内の水温は変化する。

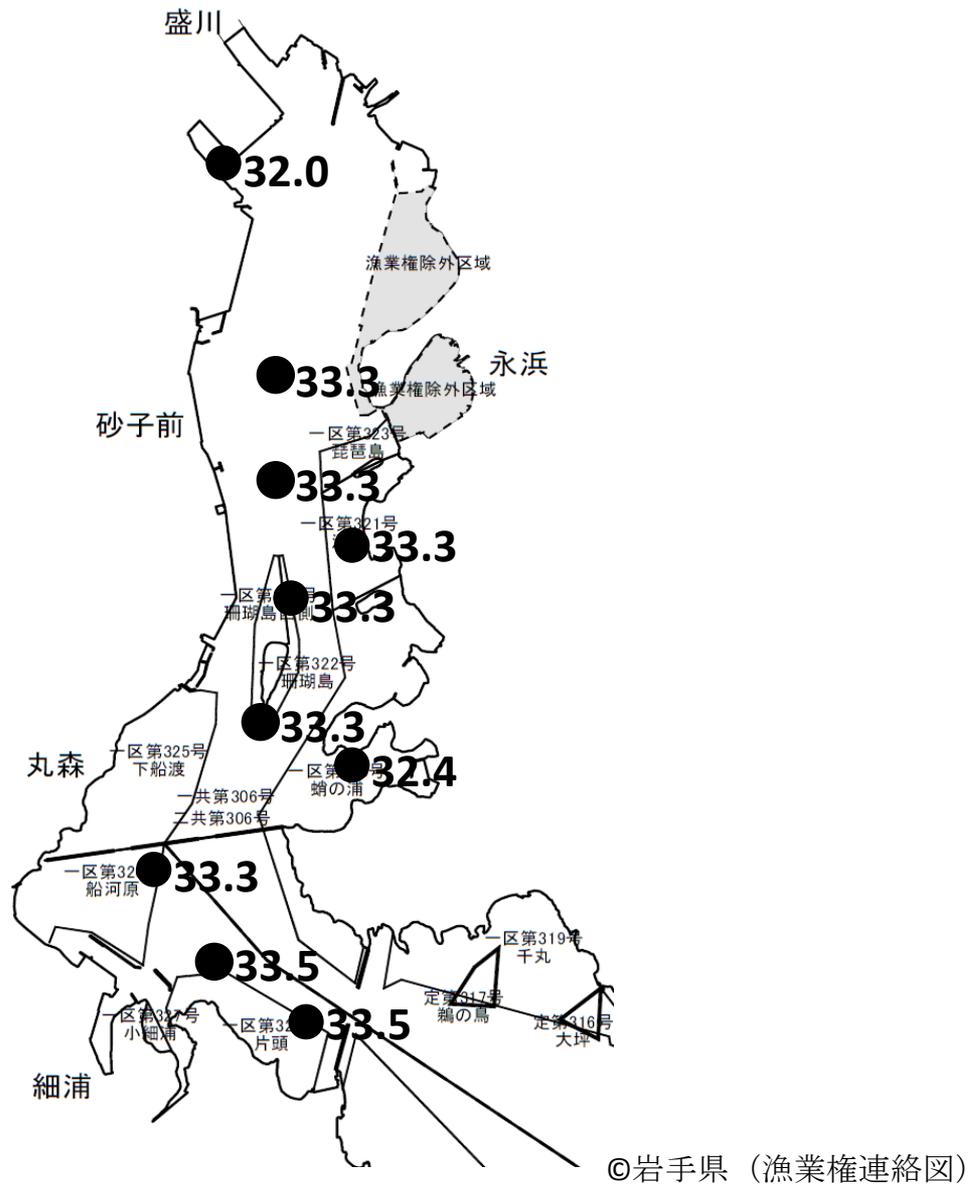


図6 水深2.5mの塩分の分布

※湾外から湾内に流入する海水、陸から湾内に流入する河川水、降雨の影響を受けて湾内の塩分は変化する。

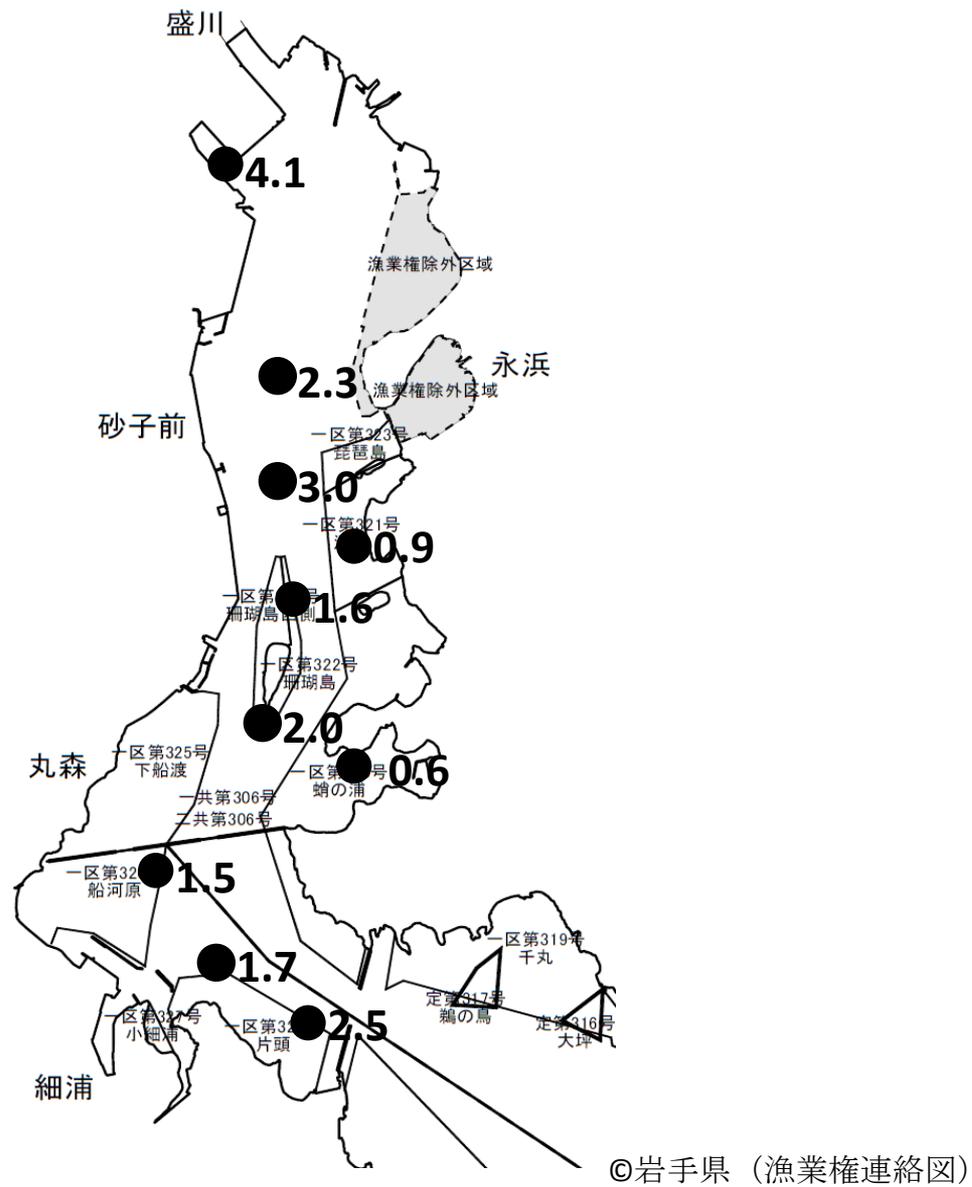


図7 水深2.5mのクロロフィルの分布

※クロロフィルは植物プランクトン量の指標であり、植物プランクトンは二枚貝やホヤ等の餌となる。